

昭和53年国鉄を退職後、地元区長を引き受けて以来、現在まで31年にわたり、多久地区防犯協会連合会役員として地域の防犯活動に努めています。地域の安全・安心のため1地区で始まった防犯活動を、多久市防犯協会連合会として組織運営することに協力しました。また青少年育成を第一に願い、『孔子の里パトロール隊』の発足にも力を注ぎました。今回の受章は私だけの力ではなく、素晴らしい先輩や友人の支援をいただいたおかげです。感謝しています。今後も元氣なかがり今までも同じ歩幅で歩き続けたいです。

国鉄の車掌として長崎駅で働いていた時に、被爆し放射能の恐ろしさを身をもって体験しました。多久市原爆被害者の会長として、今後も若い世代に原爆体験や放射能の恐ろしさを伝えていきます。

買い物環境も良くなって、今のままの多久市であってほしいです。

▶被爆者として思いを語られる瓦田さん



かわらだかずお

◇瓦田一生さん(北多久町小侍)

多久市防犯実践活動の推進に約31年の活動が顕著で2011年秋の褒章「藍綬褒章」を受章。



しばたけんじ
◇柴田健二さん(東多久町古賀平)

11月13日に福岡市で開かれた日本身体障害者水泳選手権大会で、自由形と背泳ぎの100mに出場しました。自由形が1分19秒、背泳ぎが1分38秒のタイムでした。毎回入賞していますが、大会に出られるように身体づくりのための運動は欠かさず、毎日の縄跳び600回や腕立て伏せ、腹筋で記録維持するのに努力しています。

今から20年前の平成3年から水泳を始めました。若い頃は多久市水泳連盟に入っていて泳ぐことは好きでしたが、中途失明してからは、泳ぐことをやめてしまいました。今の鍼灸マッサージの仕事の始めてから、体力づくりのため泳ぎ始めました。週2回佐賀市のプールまで杖を頼りにバスで通うことは勇気のいることで、自宅を一步出るときが一番緊張します。

これからも大会に出場することを目標に頑張っていこうと思っています。障害者にやさしいまちであってくれればと思います。



第28回日本身体障害者水泳選手権大会で100m自由形と100m背泳ぎで優勝。



▶自宅の鍼灸院での柴田さん

情報社会の今、友だちが情報をどのように活用しているか、中部小6年生43人にアンケートを行い、夏休みに統計グラフにまとめました。「今興味のあることは」、「その情報はどこで入手していますか」、「だれと情報を共有していますか」、などを聞いてグラフに表しました。

『情報社会の中で…12才の実態は?』のタイトルは、読んだだけで内容がわかるようにと2人で相談してつけました。アンケート結果をわかりやすく表現するために、棒グラフや円グラフなどを使い、心を表現するところではハートの形をしたグラフを考えました。情報を得る手段では、テレビ画面に帯グラフを書くなど、テレビが一番多かったことが分かるようにしました。

納得がいなくて何度も書き直したので、期限ぎりぎりまでかかりましたが、特選に入りみんなに「おめでとう」と祝福してもらい、嬉しかったです。中学生になってもいろいろなことに挑戦し、できたら全国で認められるような作品を作りたいです。

平成23年度統計グラフコンクール(県統計協会主催)で、小学校5～6年の部の最高賞の特選(知事賞)に輝いた。



まつおみづき

こがなつき

◇松尾美月さん 古賀夏希さん(中部小6年)

▶特選に選ばれた作品



いずもかずま
◇出雲一真さん(北多久町中多久団地一区)

▶中体連3000mを走る出雲さん(前列右)



中学校入学のとき、友達と陸上競技場で始まったスポーツピアの陸上の見学に行き、小川朋子先生から勧められて陸上部に入部しました。小学校時代は野球をしていたので、本格的に陸上をするようになったのは中学生になってからです。

陸上競技場で月曜日以外は毎日、夕方5時から2時間ぐらい練習をしています。1日7kmから9kmを走り、だんだんタイムが良くなってきました。生活面を見直し、貧血にならないように食生活を改善したのが、優勝の要因と思っています。今回は優勝を狙っていたので嬉しかったです。いつも熱心に指導してくださる小川先生のおかげだと感謝しています。

今年は受験の年ですが、都道府県駅伝への出場も目標に、勉強と練習の両立はハードだけど、高校生になってからも陸上は続け、しっかり上をめざせるように頑張ります。そして今後も県内一周駅伝などにも積極的に参加し、多久市に貢献したいと思っています。

2011年11月、緒方勝徳杯第9回中学生クロスカントリー選手権大会で、中学3年の部で優勝。佐賀県中学駅伝1区で区間賞も受賞。